

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : エアーダスター ノンフロン
会社名 : 株式会社MonotaRO
所在地 : 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名 : 商品お問合せ窓口
電話番号 : 0120-443-509
FAX番号 : 0120-289-888
緊急連絡先 : 所在地と同じ
整理番号 : M220114

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危險性

- ・可燃性／引火性ガス
 - ・高压ガス

健康に対する有害性

- 特定標的臟器 • 全身毒性 (单回暴露) 区分 3

※記載がない項目は区分外、分類対象外または分類できない。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危險

危險有害性情報

極めて可燃性・引火性の高いガス

高圧ガス：熱すると爆発のおそれ

吸入により眠気やめまいのおそれ

[安全対策]

熱・高温のもの・火花・裸火及び他の着火源から遠ざけること。—禁煙。

粉じん・煙・ガス・ミスト・蒸気・スプレーの吸引を避けること。

屋外または換気の良い場所でだけ使用すること。

[応急措置]

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休憩させること。

気分が悪いときは、医師の診断、手当を受けること。

皮膚に付着した場合：ガスの接触では障害を生じない。

液に接触すると凍傷の恐れがあるので、濡れた衣類や靴及び靴下を直ちに脱がせる。付着部を多量の水または微温湯で十分に洗净し刺激が残る場合、医師の診断、手当を受けること。

眼に入った場合：液体に接触した場合は、直ちに清浄な流水で15分以上洗眼し、速やかに医師の診断、手当を受けること。

飲み込んだ場合：常温、常圧ではガスなので、通常の使用において飲み込むことは考えられない。

[保 管]

- 施錠して保管すること。
- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- 日光から遮断し、換気の良い場所で保管すること。

3. 組成、成分情報

物質の特定 単一製品・混合物の区別：单一製品

成分情報及び含有量：

化 学 名	官報公示整理 番号 化審法	CAS No.	安衛法 通知対象物質	PRTR法 報告物質	含有量 (質量%)
ジメチルエーテル	(2)-360	115-10-6	非該当	非該当	100

4. 応急処置

吸入した場合：患者を早急に新鮮な空気の所へ移動させ、毛布等にくるんで寝かせ安静に保ち、速やかに医師の手当（酸素吸入等を考慮する事）を受ける。呼吸が停止している場合、または呼吸が弱い場合は衣服を緩め、気道を確保した上で医師の手当が得られるまで人工呼吸を続ける。

皮膚に付着した場合：汚染された衣服や靴及び靴下などを脱ぎ捨て（脱がせ）、多量の水で十分に洗い、医師の手当を受ける。

霜焼けの場合には、出来るだけ速く接触部を微温湯で十分温めるとともに、医師の手当を受ける。

眼に入った場合：液体に接触した場合は直ちに清浄な流水で最低15分間以上洗眼したのち、速やかに眼科医の手当を受ける。洗眼の際、まぶたを指で良く開いて眼球、まぶたの隅々まで水が良く行きわたるように洗う。

飲み込んだ場合：常温・常圧ではガスなので、通常の使用において飲み込むことは考えられない。

5. 火災時の措置

消 火 剤：散水、噴霧散水、粉末消火剤、炭酸ガス、泡消火剤等。

使ってはならない消火剤：棒状注水。

特定の危険有害性：容易に着火するおそれがある。加熱により容器が破裂するおそれがある。破裂した容器が飛散するおそれがある。

火災によって一酸化炭素等有毒なガスを発生するおそれがある。

特定の消火方法：関係者以外は安全な場所に避難させる。消火活動には距離を十分にとること。初期の火災には、炭酸ガス、泡等の消火剤を用いる。

安全に対処できるならば消火源を撤去する。

大規模火災には泡消火剤を用いて空気を遮断する。高温にさらされる製品容器に水をかけて冷却する。また保護具等を着用する。

消防を行う者の保護：消防作業は、自呼吸式呼吸器を含め適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。空気より重く、低い所に滞留し高濃度になりやすいので注意が必要。窒息の危険を防止するために、換気を良くし、ガスの吸入を避ける。引火性のガスであるから静電気対策が必要。火気厳禁。安全性が確認されるまでは、漏出した場所の周辺に目印を立てるとともに、ロープを貼るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。風下の人を避難させる。作業の際は適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項：環境中への放出を避ける。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：換気を良くし、速やかに大気中に拡散、希釈させる。危険でなければ漏れを止める。

二次災害の防止策：周辺での着火源（高温物、火花、裸火、電気を含む火気等）の使用を禁止する。

—禁煙。ガスの供給を断つ。窒息性、麻酔作用を持つガスであるため、漏洩したガスが滞留しないように換気を良くする。大量の漏洩が続くようであれば、周囲をロープなどで囲み、立ち入り禁止とする。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策（局所排気、全体換気等）：データなし

安全取扱注意事項：1回の噴射は1～3秒に区切り連続噴射はしない。

噴射口より10cm以上離す。

人体に使用しない。

空気と混合して爆発性ガスとなりやすいのでガス漏れには厳重に注意する。

火花（静電気火花）、火気、アークを発するもの、高温物体、強酸化剤との接近を避ける。

通電中の製品機器類には使用しない。

締め切った部屋で大量に使用しない。

人体に害があるのでガスを吸い込まないよう注意する。

大量にガスを吸引すると酸欠により窒息死に至る可能性がある。

一度に大量に使用しない。

噴射したガスは空気より重く滞留しやすいため、機器内部に使用した場合は、内部に溜まっているガスを完全に放出してから電源を入れること。静電気や火花等でガスに引火し、爆発するおそれがある。特にシュレッダー等の気密性が高い機器は危険。絶対に使用しない。

密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具をつけて作業する。

保管上の注意：容器は立てて、低温で換気の良い場所に保管する。

高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や、火気等の近くなど温度が40°C以上となるところに置かない。

容器は転倒等による衝撃及びバルブの損傷を防止する措置を講ずる。

熱、火花、炎が近くにないこと。

幼児や子供の手の届かないところに保管する。

安全な容器包装材料：データなし。

8. 暴露防止及び保護措置

成 分	管理濃度 (ppm)	許容濃度(ppm)	
		日本産業衛生学会	ACGIH
噴射剤 ジメチルエーテル	未設定	未設定	未設定

設備対策：屋内作業場での使用の場合は、発生源の密閉化または局所排気装置を設置する。

設備、換気扇等の電気設備には防爆構造のものを用いる。

取扱場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具：通常の使用では特に必要はない。

呼吸用保護具、保護眼鏡、保護手袋、保護衣等は必要に応じて着用する。

衛生対策：データなし。

9. 物理的及び化学的性質

形 状：液化ガス

色 : 無色透明

臭 気：強烈な独特なにおい（クロロホルム類似臭）

p H : データなし

比重（密度） : 0.661(20°C液体)

沸 点 : -24.8°C

融 点 : -141.5°C
 引 火 点 : -41.1°C
 発 火 点 : 350°C
 燃焼性(固体、ガス) : データなし
 爆発範囲: 下限 3.4vol% 上限 27vol%
 溶媒に対する溶解性: 7.0g/100ml 水(18°C, 760mmHg)
 蒸 気 圧: 0.41MPa(20°C)
 蒸 気 比 重: 1.59(空気=1)

10. 安定性及び反応性

安定性・反応性: 通常の取扱いにおいては安定である。

11. 有害性情報

皮膚腐食性	皮膚を侵すことは少ない
刺激性(皮膚、眼)	気体状態での刺激性はきわめて少ない
感作性	気体状態での感作性はきわめて少ない
急性毒性 吸入 ラット LD ₅₀	308g/m ³
マウス LD ₅₀	385,940ppm/30分
人に対する毒性	7.5vol%で軽い不快感が起こるが、外観的に変化は無し。 8.2vol%21.5分後、均衡障害、運動不調、視覚攪乱など。
30分後、軽い視力減退や脳充血が起こる。	
14.0vol%23分で麻痺、26分後には失神状態になる。	
亜急性毒性 吸入 ラット	10,000ppm/4週間 悪影響なし。 20,000ppm/15週間 悪影響なし。
ハムスター 20,000ppm/13週間	白血球数、リンパ球数減少、 非影響濃度 5,000ppm
慢性毒性 吸入 ラット	20,000ppm/30週間 肝臓に対する毒性の徵候有り。 2,000ppm/104週間 影響のない濃度レベル。
がん原性	知見なし
変異原性	サルモネラ菌 119,000ppm/48時間 変異原性なし ショウジョウバエ 28,000ppm/14日間 突然変異性なし
生殖毒性	知見なし
催奇性 吸入 ラット	728,000ppm/6~15日間 催奇性なし

(注)LD₅₀: 半数致死量 (mg/kg)

12. 環境影響情報

分解性: 難分解性
 蓄積性: ない又は低いと判断されている。
 魚毒性: 知見なし。

13. 廃棄上の注意

- 必ず中身を使い切り、中身がないことを確認して廃棄する。
- 廃棄は、各自治体の指示に従って行う。

14. 輸送上の注意

国連分類: (クラス2. 1) 高圧ガス
 国連番号: 1950
 注意事項: 取り扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従う。
 容器からの漏れがないことを確認し、運搬中荷崩れて転倒、落下による容器の損傷が
 起こらないように充分な手段を講じる。
 陸上輸送: 消防法、労働安全衛生法、他法令の輸送について定めるところに従う。

海上輸送：船舶安全法に定めるところに従う。

航空輸送：航空法に定めるところに従う。

1.5. 適用法令

高圧ガス保安法：適用除外(液化ガス 可燃性ガス)

労働安全衛生法：危険物(可燃性のガス)

P R T R 法：非該当（平成 21 年 10 月 1 日改正 P R T R 法に追加された物質に新規該当なし）

船舶安全法：危険物(高圧ガス)

航空法：高圧ガス

1.6. その他の情報

記載内容の取り扱い：

- ここに記載された情報は現時点で正確な物と考えられますが、危険・有害性の評価は必ずしも完全な物ではなく、新知見によって変わることがあります。

また、需要家の皆様の使用条件は弊社の管理外の事項となりますので、取り扱いには十分注意してください。

引用文献：

・製品安全データシートの作成指針 日本化学工業協会

・化学物質等法規制便覧 化学工業日報社

その他として、各原料メーカーの SDS に準拠する。